

# 授業と家庭学習を効果的に連動させた学習指導（例）（小学校社会）

## 指導の例 指導と家庭学習の計画（例） 第6学年「天皇中心の国づくり」

※この単元の配当時数は6時間程度であるが、家庭学習と授業をより連動させることで、4時間程度で行えるよう計画したものである。

曜日	月	火	水	木	金	土日
	<b>授業日</b>	<b>家庭学習</b>	<b>授業日</b>	<b>家庭学習</b>	<b>授業日</b>	<b>家庭学習</b>
<b>1週目</b>	①聖徳太子が行った政治について整理し、学習問題をつくる。 「天皇中心の国づくりは、だれがどのように受けついでいったか。」	○聖徳太子が行った政治について、年表（ワークシート）に書き表す。	②聖徳太子の死後、退化の改新により、天皇の力がどのように広がったのか調べ、話し合う。	○国を治めるための法律（律令）や租・調・庸についてワークシートにまとめる。	③④聖武天皇は、どのようにして世の中を治めようとしたのか調べ、話し合う。	○大仏づくりについて教科書で調べ、ワークシートにまとめる。 ・大仏の大きさ ・集められた人や物資 ・大仏のつくり方
	<b>授業日</b>	<b>家庭学習</b>	<b>留意事項</b>			
<b>2週目</b>	⑤日本は大陸からどのようなことを学んだのか調べ、話し合う。 ⑥学習問題について調べてきたことを表に整理し、学習した人物のせりふを考え、まとめる。	○⑥の学習活動の続きに取り組み、完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書発行者の学習支援コンテンツ、教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできる動画資料、下記の動画資料等を適切に活用し、学習問題の焦点化や知識の定着を図るようにする。</li> <li>家庭学習を課す場合は、児童が無理なく主体的に取り組めるよう、年表（ワークシート）などの枠を配付したり具体的な取り組み方を示したりする等、配慮する。</li> <li>家庭学習における児童の学習状況については適切に把握し、定着が不十分な児童に対しては、個別の指導を行う等支援する。</li> </ul>			

### 内 容

### 参考となる動画（NHK for School）

<https://www.nhk.or.jp/school/selection/?syakai=g6>

① 聖徳太子の国づくり	・聖徳太子と遣隋使 ・豪族と冠位十二階 ・十七条の憲法
② 大化の改新と天皇の力の広がり	
③ 仏教の力で国を治める	
④ 大仏をつくる	・大仏ができるまで
⑤ 大陸の文化を学ぶ	・正倉院の宝物 ・遣唐使 ・鑑真の旅
⑥ まとめる	